

# 業務ニュース名古屋

## 2022年5月31日発生のJR飯田線落石の災害に対する業務委員会を開催！！

7月28日、地本は、「JR飯田線における落石に対する申し入れ」に対する業務委員会を開催した。

2022年5月31日21時頃、JR飯田線湯谷温泉～三河榎原駅間の線路上に大規模な落石が発生した。会社は、6月6日から本長篠駅～東栄駅間バス代行輸送を実施し、東栄駅～中部天竜駅間は、代行バスの接続を考慮した特別ダイヤにて運転を再開したが、6月20日通常ダイヤで運転する始発列車まで多くのお客様にご迷惑かけた。線路設備等に大きな被害が生じたが、幸いにも列車及び人命への被害はなかったが、一步間違えれば多くの人命と乗務員の命が奪われるところでした。地本は、飯田線を利用しているお客様と乗務員が安心して乗務できる為に原因究明と対策に向け議論を行った。

### 申し入れと回答

1. 発生時の状況について明らかにすること。

【回答】5月31日20時52分三河大野駅構内で出発信号機を制御できないことが判明し、三河大野駅から三河榎原を線路点検中23時51分工務係員が、巡回していたときに落石を発見した。

2. 落石による線路・施設などへの被害状況を明らかにすること。

【回答】機動設備(レール・枕木等)既存の防護設備、電気設備(鉄製の電柱・架線・通信ケーブル)が損傷した。

3. 現時点での列車運行、代行運転を含めた運行状況を説明すること。

【回答】(本長篠駅から東栄駅間)6月6日(月)からバスによる代行輸送を実施(東栄駅から中部天竜駅間)運転する代行バスの接続を考慮した特別ダイヤにて運転を再開、なお、6月20日(月)始発より通常ダイヤにて運転を再開した。

4. 今回落石箇所の危険性について、会社の認知度を明らかにすること。

【回答】当該箇所は従来、落石が発生しても小規模であり、既存の防護設備により防護可能で

あると考えていた。令和4年5月に実施した社員による全般検査では異常がない事を確認している。また、2年に一度実施する専門家による社内調査でも令和3年6月の時点では既存の防護設備で防護可能であり、監視を継続する事との所見であった。

5. 今回落石箇所で行っていた落石防止対策を明らかにすること。

【回答】前項に記載した定期的検査に加え平成6年に岩石を押さえるための落石防止網を設置していた。その後岩盤表面の状況を鑑み、平成26年に落下防止網の張り替えと設置範囲の追加を実施している。

6. 飯田線のみならず、各線区においても早急に沿線の点検を行い、気象情報の活用強化を含め、事前の対応策を強化すること。

【回答】線路際かつ切取り露岩の内の災害歴や岩質などから落石発見リスクの高い箇所を注出し、線路上から目視点検を実施する。点検結果及び専門家の意見を踏まえ点検等の対策を検討する。今回の落石は風化の影響が大きく、直近の降雨の影響は認められないと鉄道総研から見解を受けており気象情報の活用強化は該当しない。

7. 沿線各自治体とも協力し、そもそも落石・土砂流入のない沿線環境を造るための治山治水に取り組むこと。

【回答】今回の落石は、用地内を発生源としており、沿線自治体への治山治水の要請はしていない。

### 【主な議論】

組合: 列車衝突・人力的被害など直接的な被害は出なかった事は幸いだったが、しかし、これまで何回もあちらこちらで、落石が発生している。日頃の準備はしっかりとしていたのか？回答を聞く範囲だとしっかりと準備していたとは思えないがどうか。

会社: 準備はしていた。しかし、落石は予見できなかったと言われてはできなかった。しかし、落石検知柵にも引っかかた等事故を防げたのは「ラッキー」だけではなく日頃から行って来た事があったからです。また、従来この場所は小さな落石はあったが、専門家からも既存の防護設備で大丈夫だと言われていたが、通常検査はしっかりと行って来た。

組合: しかし、今回大きな落石が発生したのは事実であると思うか。

会社: 今回の発生場所は硬い岩が露出している所で年月と共に表面が崩れて来たところであった。通常検査では問題無かった。前にも述べたが普段は小さな落石しか起きていないので網だけで防げると思っていた。

組合: 崩れてきた岩の量はどれくらいか。

会社: 総量200トン。2メートル×2メートル×2メートルの岩であった。

組合:この場所は全体が崩れやすくなっているのか。

会社:それは解らないが、全体が岩の塊なので全てを取り除くことはできない。。

組合:出発信号機が制御できなかった理由を明らかにせよ。

会社:推定だが落石防止網が線路にかぶさり軌道短絡が起きたのではないかと思います。

組合:飯田線は災害でよく止まるというイメージが強いがどうか。。

会社:高山線と同じで線路に崖が近くにある場所が多いので安全のために止まることは多いと思う。しかし、安全運行が第一なので理解して頂きたい。

組合:飯田線の他の崖は落石の危険はないのか。。

会社:今回の事を受けてここ以外のエリアの調査をしたが、今回の落石現場の岩質はこの付近だけであった。露出している岩は全線区調査している。

組合:出発信号機が制御できなかった理由が解るまでに三時間もかかったその理由を明らかにしろ。

会社:何が起きているのか一つ一つ原因を確認していたので時間がかかった。

組合:今回もそうだが、自然災害は予知しにくいと思うがどうか。

会社:その通りだと思う。今回も長い年月の岩の風化が原因であったので予見しにくかった。

組合:災害を最小限で食い止めるために強い線路、災害を食い止めるための設備の追加を実施して行かなければならないと思うがどうか。

会社:会社は年度初の説明で災害に強い線路をつくることは伝えてある通りである。

組合:それでは、会社も、組合も災害に強い線路をつくることは一致しているので共につくり上げて行きましょう。

会社:了解。

以 上